

# フォークリフトの種類

## カウンター・バランス式



車体前方にmast、フォーク等の荷役装置を備え、後方に積載荷重に釣り合わせるためのウェイトを備えている

動力源はエンジン(ガソリン,LPG,ディーゼル)またはバッテリー

積載重量は0.5t ~ 42tと幅広い

用途は製造業から倉庫業、屋外、屋内と幅広い

製品としてはトラック等の重機に近い

## 屋内物流機器



積込、積下ろし作業の時フォークが前に繰り出す(リーチ)ことが出来る構造のもので、荷物を運搬するときは荷物を引込めて走行する

動力源はバッテリー

積載重量1.5t程度が中心

倉庫内等狭い場所での作業に使われる

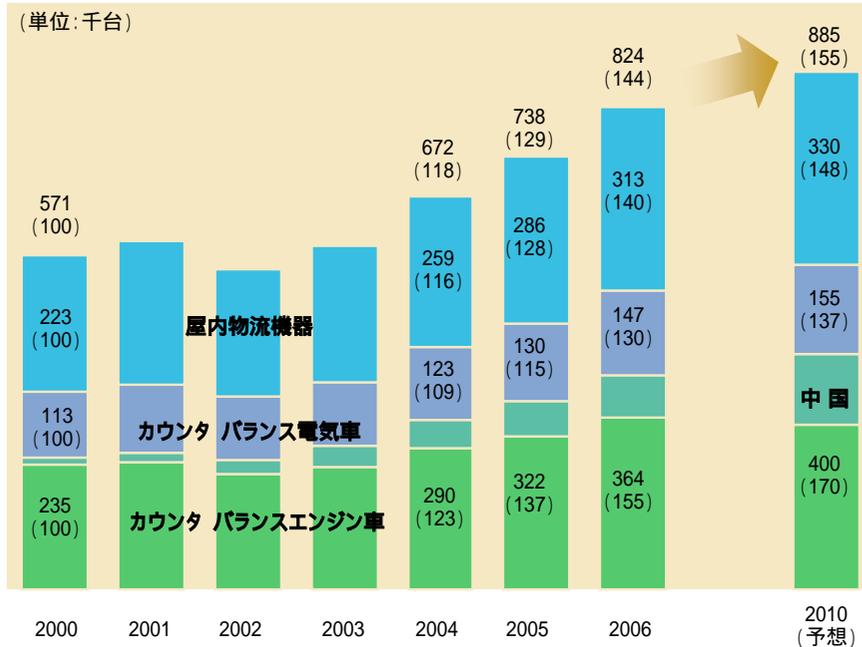
地域(欧・米・アジア)毎にスペックが異なる

顧客の倉庫それぞれに合った提案型営業力が要求される

# フォークリフトの事業環境

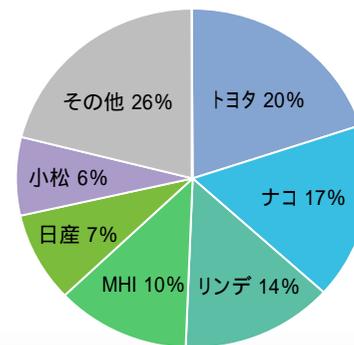
- 全体としては、成熟するカウンターバランス(CB)市場、伸張する屋内物流機器(WH)市場の傾向は変わらないが、アジア市場(特に中国)ではエンジン式が急速に拡大中
- 顧客の成長・集約・大口化によりフルラインの品揃えが必須
- グローバルで加速する寡占化
  - ・トヨタ(豊田自動織機)が独走態勢
  - ・業界再編の可能性も出ている
  - ・ニチユは世界市場におけるプレゼンスが課題
  - ・三菱重工は世界市場で強いがエンジン式が主力
- 生き残りの基準 = CB、WHシェア20%

## 市場動向(全世界)

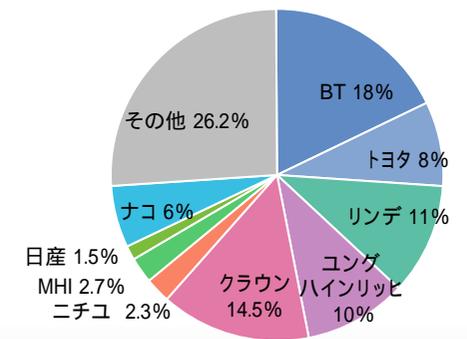


## マーケットシェアの状況(2006年)

### カウンターバランス車



### 屋内物流機器(リーチ車のみ)



(注) 数字は当社予測・推定

# 国内市場動向

- 成熟市場であり総市場規模は頭打ち。国内メーカーだけでも7社の過当競争状態。環境問題等から電気車比率が増大。
- 大口顧客、物流・倉庫業の需要増からフルライン(エンジン,バッテリー,屋内物流機器)での販売が必要。(ニチユ,三菱以外はフルラインでの販売網)

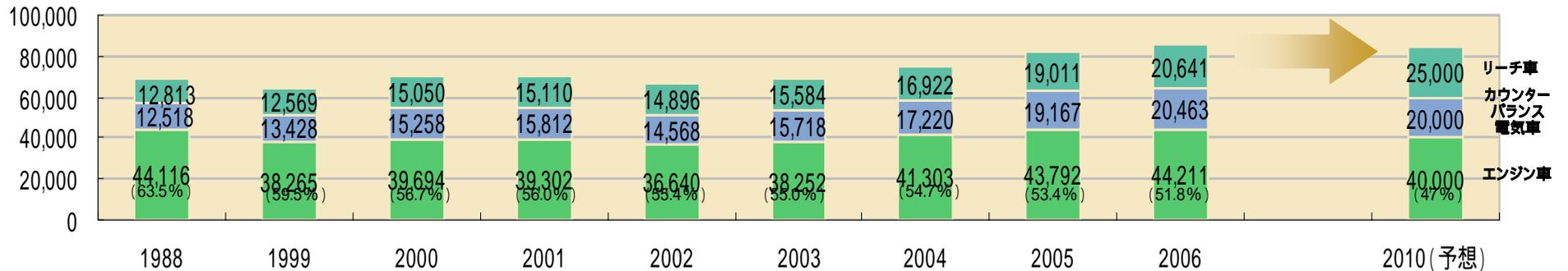
トヨタ(豊田自動織機)が独走態勢

日立建機が子会社化したTCMIは、バッテリー車強化の方針を打ち出している

コマツはLindeとの提携を解消(2006年)

ニチユはバッテリーでトヨタに次いで第二位

三菱は海外市場ほどのプレゼンスではないが、エンジン式で健闘



市場勢力図(2006)

